

主要産地における平成28年産水稻の生育状況等について 第4報 (6月15日現在)

作成：公益社団法人米穀安定供給確保支援機構情報部 (平成28年6月16日)

道府県	生育状況等		同左及び周辺事情に対する自治体等公表資料等 (注釋)
	区分	青節・田植進行状況・生育状況等 (自治体等公表資料の抜粋) 平年に対する遅速等	
北海道	(生育)	<p>(全道) 生育はやや早い (早3日)。活着は順調。移植作業は平年並に終了 (早2日)。全道的に農作業・生育は順調に進んでいる。(北海道農政部 6月1日現在)</p> <p>(空知) 移植作業は順調に進み (早2日)、生育も順調であるが (早3日)、一部の地域では強風による播き過ぎがあった。(空知総合振興局 6月1日現在)</p> <p>(石狩) 移植作業は順調に進んだ (早2日)。活着は早かったが (早4日)、強風により一部播き過ぎを生じた。(石狩総合振興局 6月1日現在)</p> <p>(後志) 移植作業の終了は5月28日 (早3日)。活着はやや良。(後志総合振興局 6月1日現在)</p> <p>(胆振) 生育は平年並 (早1日)。移植作業は終盤を迎えている (進捗率96%)。(6月1日現在)</p> <p>(日高) 生育は平年並 (早1日)。移植作業は平年並に終了した。(日高総合振興局 6月1日現在)</p> <p>(渡島) 移植作業は平年並で遅く終了。生育は平年並に推移 (早1日)。(渡島総合振興局 6月1日現在)</p> <p>(檜山) 生育は平年並。植山移植局 6月1日現在)</p> <p>(上川) 移植作業は平年並に終了し (早2日)、生育も平年並となっている (早2日)。(上川総合振興局 6月1日現在)</p> <p>(留萌) 気温が高く推移したこと、生育は平年よりも早く進んでいる (早4日)。一部に風による葉枯れが見られるが、生育は順調である。(留萌振興局 6月1日現在)</p> <p>(オホーツク) 移植終了は5月30日であり早かった (早4日)。生育はやや進んでいる (早3日)。(オホーツク総合振興局 6月1日現在)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 6月のヒメトビウカの発生量はやや多く、イネドクイムシの発生量はやや少なく、フタオビコヤガの発生量は少ないと予報 抵抗性イネドクイムシに対する薬剤の選択に注意するよう指導 (北海道病害虫防除所 5月30日公表)
青森	(生育)	<p>(黒石) 6月10日現在の「つがるロマン」は、草丈は29.3cmで平年より0.9cm短く、株当たり葉数は7.5本で平年並み、葉齢は5.9葉で平年並。「青葉の露」は、草丈が34.7cmで前年より1.0cm長く、葉数は8.2本で前年より0.2本多く、葉齢は5.6葉で前年並みであった。</p> <p>(十和田) 6月10日現在の「まっしぐら」は、草丈は38.5cmで平年より0.9cm長く、株当たり葉数は11.3本で平年より3.1本多く、葉齢は6.7葉で平年より0.4葉多かった (青森県産業技術センター-農林総合研究所 6月10日付)</p> <p>(生育) 6月5日現在の田植進捗よく状況は、県全体で100%となった。県全体の田植終わり日は平年の5月28日となった。(青森県 6月7日付)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 6月のイネミズゾウムシの発生時期は早く発生量はやや多い、イネドクイムシの発生時期は早く発生量は平年並と予想 (青森県病害虫防除所 5月31日公表) イネミズゾウムシの発生は「やや多い」と予想 (農林水産省 5月24日付)
岩手	(生育)	<p>6月6日現在、農業研究センター (北上) の「ひとめぼれ」と「あきたこまち」及び県北農業研究所 (軽米) の「いわてつこ」とも、草丈は平年を上回り、葉齢は平年並み又は平年を上回っており、初期生育は良好である。農業研究センター (北上) では、葉数が平年を上回っている。(岩手県農業研究センター 6月8日付)</p> <p>県全体の田植入盛期は5月17日と見込まれ、田植え作業は適期内に終わる見込み。田植え時の気温・日照時間とも平年を上回り、活着は概ね良好。直播栽培後除草までの気温が平年より高く経過しており、県内各地とも出芽は良好。(岩手県 5月26日付)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 6月6日～10日の調査では、一部の圃場の取置きにもいも虫の発生が確認された。(岩手県病害虫防除所 6月13日公表) 6月のいも虫病 (実いも虫) の発生量は平年並の予報。イネミズゾウムシ、イネドクイムシの発生量はやや少ないと予報 斑点米カメムシ類 (アサジカシカミカメ) は、県中南部を中心にすでに旺盛期を迎えているため、薬剤などの管理を指導。(岩手県病害虫防除所 6月1日公表)
宮城	(生育)	<p>6月10日現在、生育は概ね順調で、葉数 (平年並+0.3枚) から見ると平年に比べて2～3日程度進んでいると思われる。草丈は29.0cm (平年比102%)、1m当たりの葉数は235本 (平年比121%)、葉緑率計 (GVI) は39.4 (平年並+0.8) であった。(県全体平均) (宮城県 6月13日付)</p> <p>(亶理) 6月10日現在、葉数は前年並み、草丈は前年より高くなる傾向がみられる。乾田直播栽培では、苗立ち率は良好で初期には葉数も多く、葉数も進んでおり、移植栽培との生育の差は10日程度となっている。湛水直播栽培でも播種後の苗立ち率は高くなっている。(6月13日付)</p> <p>(大崎) 6月10日現在、草丈は、ほぼ平年並。ただし、山間高冷のやまのしずくは平年に比べ長い。葉数は、北部平坦のササニシキ及び山間高冷のやまのしずくは、平年並を上回っている。他は少ない傾向がみられる。葉色は、ほぼ平年並またはやや少ない傾向が見られる。ただし、北部平坦のササニシキが平年に比べ+0.8枚と上回っている。葉色は、ほぼ平年並またはやや多い傾向が見られる。ただし、北部平坦のみやかがねもちはやや多い。(6月13日付)</p> <p>(大河原) 6月9日現在の管内の生育調査者の生育は、全般的には平年並となっているが、ほぼ全ては平年より葉数や葉数が多く、生育が進んでいるところもある。(大河原農業改良普及センター 6月9日付)</p> <p>(栗原) 6月10日現在のひとめぼれは、葉数は平年より多く (平年比+0.6枚)、生育は平年より3～4日程度進んでいる。葉数は平年より多く (平年比133%)、草丈は平年並 (平年比102%)、葉色はほぼ平年並に比べて差があるが、平年よりやや多い状況 (平年比106%)。(6月14日付)</p> <p>(登米) 6月9日現在、草丈は平年並～やや長め、葉数は概ね多く、葉数はやや多めで生育は3日程度早く、葉色はほぼ平年並よりバラツキがあるがやや多い。直播栽培は、出芽は良好で初期生育も順調。草丈、葉数、葉数のいづれも例年より多い傾向にある。(6月10日付)</p> <p>(本吉) 6月10日現在、草丈はほぼ平年並、葉数は0.5～0.9枚多く、平年より4～7日生育が進んでいる。気仙沼市 (ひとめぼれ) では、葉数は少なく (平年比84%) になっているが、前期 (6月1日) の約2倍に増えており、葉色はやや多く (平年比106%)、生育は順調。苗より早く (ササニシキ) では、葉数はやや多く (平年比108%)、葉色は多く (平年比117%) となっている。管内の生育も概ね順調で、生育調査区と同様に平年より4～7日進んでいると見られる。(本吉農業改良普及センター 6月10日付)</p> <p>(美里) 6月1日現在、草丈、葉数ともに平年を上回っており、生育は順調。(美里農業改良普及センター 6月3日付)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 6月下旬までの葉いも虫の発生量は平年並、イネドクイムシの発生量はやや少ないと予報。(宮城県病害虫防除所 6月7日公表)
秋田	(生育)	<p>(山本) 6月10日現在、草丈27.7cm (平年比113%)、葉数181本/m² (同比134%)、葉数6.4 (同並+0.4葉) となっている。(6月10日付)</p> <p>(由利) 田植え作業は管内全域でほぼ終了し、強風による葉の痛みが一部で見られるが、おおむね順調に生育している。(6月10日付)</p> <p>(平鹿) 6月10日の調査結果 (あきたこまち11か所) では、草丈が21.9cm (平年比93%)、葉数が102本/m² (平年比85%)、葉齢が5.7葉 (平年比+0.1葉) となっている。(6月13日付)</p> <p>(鹿角) 6月10日の定点調査では、草丈が26.6cm (平年比105%) で長く、葉数が191本/m² (平年比109%) で多く、葉数が1.1葉 (平年+0.1葉) で平年並となった。(6月10日付)</p> <p>(秋田) 田植え作業の終期は平年と同じ5月26日。5月30日現在の田植え作業の進捗率は99.6%となり、作業はほぼ終了している。(6月9日付)</p> <p>(北秋田) 5月30日現在の田植え作業進捗は、98%と概ね終了している。田植え後の生育は、好天に恵まれ良好。(6月3日付)</p> <p>(雄勝) 田植え作業の終期は5月30日となり、平年より1日早くなった。(6月3日付)</p> <p>(仙北) 耕起作業は5月10日現在で83.5% (平年83.1%) の進捗となっている。4月下旬の降雨等により、耕起作業に若干遅れが見られたものの、作業は概ね順調に進んでいる。直播栽培の播種作業は今週末に盛期を迎える見込み。(5月13日付) (秋田県農林政策課)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 6月の葉いも虫の感染量は平年並、ばか苗の発生量は平年並の予報。イネミズゾウムシの発生時期は早く、発生量は多いと予報。斑点米カメムシ類の発生時期は早く、発生量は多いと予報。イネドクイムシの発生量は少なく、イネミヅフエとイネメイガ、フタオビコヤガの発生量は少ないと予報 (秋田県病害虫防除所 5月27日公表) イネミズゾウムシの発生は「多い」と予想 (農林水産省 5月24日付)
山形	(生育)	<p>6月10日現在、平坦部「はえぬき」の生育は、草丈は平年よりやや長く、葉数・葉色は平年並みで順調な生育となっている。現在の生育は平年より2～3日程度の進みとなっている。「つがね」の生育は、バラツキもなく順調な生育となっている。適正な時期に移植され、その後の好天に恵まれたこと等により、初期の生育量が確保された (オールやがた米づくり日本一運動本部 6月10日付)</p> <p>(鶴岡田川) 6月10日現在、「つがね」の草丈は平年並～長く、葉数は多く、葉数進んでおり、葉色は平年並～やや遅く経過している。(庄内総合支庁農業技術普及課 6月10日付)</p> <p>(置賜) 苗の活着は良く、生育も順調に進んでいる。(置賜地域本部実務班 6月7日付)</p> <p>(酒田飽海) 6月10日現在、生育は順調で平年並に推移している。湛水直播栽培の生育は順調だが、一部葉数がやや過剰になっている圃場もみられる。(酒田農業技術普及課 6月14日付)</p> <p>5月9日現在の「つがね」の生育は平年より2～3日早く、葉数が急増中。草丈は平年並～長く、葉数は平年並～多く (バラツキが見られるが急増中)、葉数の展開は2～3日早い。(酒田農業技術普及課 6月1日付)</p> <p>(東南村山) 6月10日現在の「つがね」は、ほぼ平年並の生育の差が大きい。(村山総合支庁農業技術普及課 6月13日付)</p> <p>6月10日現在の草丈はやや長く、葉数は平年並～やや少なく、圃場によって生育に大きな差が見られる。(村山総合支庁農業技術普及課 6月13日付)</p> <p>(飯上) 生育はほぼ平年並とのばらつきが小さくなっている。(庄内総合支庁農業技術普及課 6月15日付)</p> <p>(北村山) 田植えは、始期5月14日、盛期5月21日、平年並に順調にすすんだ。(北村山農業技術普及課 5月26日付)</p> <p>(西村山) 田植えは適期は、5月25日頃までを目安と指導。(村山総合支庁西村山農業技術普及課 5月10日付)</p> <p>(置賜) 気温の高い日が続くことと予想され、苗枯れや葉の伸びすぎに注意するよう温度管理を指導。田植えの適期は5月15日～20日頃。つがねの田植えは5月20日まで。(置賜総合支庁 5月6日付)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 6月の葉いも虫の発生時期、発生量ともに平年並、斑点米カメムシ類の発生量はやや多いと予報。(山形県病害虫防除所 6月1日公表)
福島	(育苗・田植)	<p>移植栽培用の播種作業は、盛期が4月16日、終期が4月24日で、それぞれ平年に比べ1日早まった。湛水直播栽培は、4月下旬から播種作業が始まっている。移植栽培も、早いところは4月下旬から田植えが始まっている。(福島県農林水産部 5月12日付)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 6月の葉いも虫の発生量は平年並、イネドクイムシの発生時期は早く発生量は平年並、イネミヅフエの発生量はやや少なく、イネミズゾウムシの発生時期は早く発生量は平年並からやや少ないと予報 (福島県病害虫防除所 5月27日公表)
茨城	(生育)	<p>(水戸市) 6月10日現在、主要葉数の展開からみた生育は、5月2日に移植した「あきたこまち」、「コシヒカリ」とも平年並、平年に比べ草丈は「あきたこまち」で低く、「コシヒカリ」でやや低い。葉数および葉色は両品種とも平年並。6月10日に移植した「コシヒカリ」は、平年に比べ1日程度遅れている。平年と比較して、草丈は低く、葉数はやや多く、葉色は平年並。(6月13日付)</p> <p>(龍ヶ崎市) 9日現在、主要葉数の展開からみた生育は、4月27日に移植した「あきたこまち」、「コシヒカリ」とも平年並より15日程度進んでいる。平年に比べ、両品種の草丈は概ね長く、葉数は「あきたこまち」で概ね多く、「コシヒカリ」で多い。また、両品種とも葉色はやや低い。5月6日に移植した「あきたこまち」、「コシヒカリ」の生育は、平年より2～3日進んでいる。平年に比べ、両品種の草丈は長く、葉数は「あきたこまち」で多く、「コシヒカリ」で概ね多い。両品種とも葉色は平年並。(6月14日付) (茨城県農業総合センター-農林総合研究所)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 注意報-イネ緑葉枯病 (ヒメトビウカ) の発生量が県西地域、県南の一部地域で多いと予報。(茨城県病害虫防除所 6月9日公表) 6月の緑葉枯病 (ヒメトビウカ) は、県西地域と県南の一部地域で平年より発生時期が早く、発生量は多いと予報。二カメイガは、県下全域で発生時期が早く、発生量は多いと予報 (茨城県病害虫防除所 5月31日公表) イネ緑葉枯病 (ヒメトビウカ) の注意報が発表された (農林水産省 4月19日付)

生育状況等		周及及び周辺事情に対する自治体等公表資料等（抜粋）
栃木	<p>・6月9日現在、早熟栽培コシヒカリの生育状況は、草丈はやや長く（年比104%）、葉数はやや少なく（97%）、葉色は0.3葉多く、葉色は0.3深い。葉齢から判断して、生育は2日程度進んでいると推察される。生育診断値（葉色×葉数）は年比40%（+0.2）</p> <p>（新潟県農政局 6月10日付）</p> <p>（生育）</p>	<p>・注意報一イネ結実枯病が、県中南部で発生量が多いと予報</p> <p>・一部地域でニカメイガの多発生を懸念。第1世代幼虫の防除時期は、6月上旬～中旬と予報（栃木県農業環境指導センター 6月1日公表）</p> <p>・ヒメトビウンカのイネ結実枯病ウイルス保毒虫率は、県中部で8.3%、県南部で7.1%と高い状況が続いており、県北部でも徐々に高まっている。（栃木県農業環境指導センター 5月27日公表）</p> <p>・5月下旬～6月下旬のイネ結実枯病の発生量はやや多いと予報（栃木県農業環境指導センター 5月20日公表）</p>
埼玉	<p>・6月1日現在、早期栽培（5月2日播種 コシヒカリ）の苗の徒長などは見られず、概ね年並の苗が得られた。活着は良好。初期生育は良好で、移植後20日調査では、草位の進捗は早く、生育量も年並を上回った。移植後20日調査では、やや抑制気味となったが、概ね年並の順調な生育である。早熟栽培（5月20日播種 彩のかがやき）は、充実度の高い良苗が得られた。活着は良好であり、その後の生育も順調</p> <p>県内全館の早期栽培では、活着は良好で初期生育は順調。早熟栽培では5月中旬以降、苗の生育遅れから移植が遅れ気味となったが、概ね前年並に進捗し、活着は良好で初期生育は順調。</p> <p>（埼玉県農業技術センター 6月1日現在）</p> <p>（生育）</p>	<p>・6月の葉いもちの発生量はやや多く、ニカメイチュウの発生時期はやや早く発生量はやや多い。イネミズゾウムシの発生時期は早く発生量は年並。イネドロオイムシの発生量は少なく、ヒメトビウンカの発生量はやや多く、結実枯病の発生量は多いと予報（埼玉県病害虫防除所 5月27日公表）</p> <p>・イネ結実枯病、イネいもち病の発生は「多い」と予想（農林水産省 5月24日付）</p>
千葉	<p>・6月1日現在の生育は、年並よりやや早くなっている。ただし、移植直後に強風や一時的な低温にあった場合は、生育差が見られており、年並と比較して、草丈がやや低く、葉数がやや少なくなっている。「ふさおとめ」の幼穂形成期は6月14日頃かと予測。</p> <p>（千葉県農林水産部 6月3日付）</p> <p>（生育）</p>	<p>・向こう1か月間の病害虫の発生量は、いもち病（葉いもち）は年並。イネドロオイムシは少なく、イネクロカメムシとヒメトビウンカはやや多く、セジロウカとコバネイナゴは年並の予報（千葉県農林総合研究センター 6月9日公表）</p> <p>・5月下旬に行った調査では、16地点でヒメトビウンカ成虫が捕獲され、過去11年で昨年より2割目に多く、7地点は東北西部で合った。（千葉県農林総合研究センター 6月9日公表）</p> <p>・イネ結実枯病、イネミズゾウムシの発生が「やや多い」と予想（農林水産省 5月24日付）</p>
新潟	<p>・6月9日現在、コシヒカリの生育は、県平均で指標値に比べ葉数の進みはやや早く、葉数は多く、草丈はやや長く、葉色は年並。こいしぶきは、県平均では指標値に比べ、葉数の進みは早く、葉数は多く、草丈は年並。葉色はやや濃い。</p> <p>今後、生育の進みは早く、分けつ後の発生が好転と見込まれる。</p> <p>（新潟県農林水産部 6月10日付）</p> <p>（岩 船）6月9日現在、草丈はやや長く、葉数はやや多く、葉数は多く、葉色はやや濃い。田植時期が遅いほ場や追肥の遅れが大きかった一部地域では、生育が遅れ気味。（岩上農業普及指導センター 6月9日現在）</p> <p>（新発田）6月9日現在、生育は指標値に比べ2～3日程度進んでいる。草丈は長め（31cm 指標値119%）、葉数は多め（231本/m² 指標値110%）、葉数はやや多く（7.2葉 指標値+0.5葉）、葉色は年並（葉緑率計34.8 指標値-0.2）</p> <p>（新潟県農業普及指導センター 6月9日付）</p> <p>（新潟）6月9日現在、コシヒカリの生育は、草丈は30cm（指標値108%）、葉数は270本/m²（指標値115%）、葉数は7.1葉（指標値+0.3）、葉色（SPAD値）は38.0（指標値-0.3）、こいしぶきの生育は、草丈は30cm（指標値113%）、葉数は316本/m²（指標値126%）、葉数は7.6葉（指標値+0.4）、葉色（SPAD値）は40.4（指標値+1.4）</p> <p>（新潟県農業普及指導センター 6月9日付）</p> <p>（新潟）6月9日現在、葉数は、こいしぶきはやや多く、コシヒカリは年並～やや多い、草丈・葉数・葉色は、こいしぶき・コシヒカリとも地域差大。生育は全般的に良好。新発田も生育は順調。（新潟県農業普及指導センター 6月9日付）</p> <p>（巻）6月9日現在、生育が早く、葉数の多い状況が続いている。ワキ節により下葉に傷みが見られるほ場が目立っている。生育量の伸びはやや鈍化した。依然として葉数の進みは指標値より3～4日程度早く、葉数も多い。草丈はやや長く、葉色は年並。（巻農業普及指導センター 6月9日付）</p> <p>（三 象）6月9日現在、生育の進みはやや鈍化した。品種を問わず下葉の傷みが多くみられる。こいしぶきは、葉数が多く、生育過剰となっている。コシヒカリは、目標値のほぼ8割を確保し、中干し適期を迎えている。</p> <p>（三象農業普及指導センター 6月9日付）</p> <p>（長 岡）6月9日現在、コシヒカリの草丈は31cm（指標値103%）とほぼ指標値並、葉数は240本/m²（同比118%）とやや多、葉数は7.2葉（同差+0.8葉）とやや多、葉色は37.3（同差-0.3）と指標値並。</p> <p>（長岡農業普及指導センター 6月9日付）</p> <p>（柏 崎）6月9日現在、こいしぶきの生育は、草丈は29cm（指標値106%）、葉数は300本/m²（同比118%）、葉数は39.7（同差+0.4葉）、葉色は39.7（同差+0.2）、コシヒカリの生育は、葉数がやや多くなっている。平地では、草丈は29cm（指標値95%）、葉数は226本/m²（同比108%）、葉数は6.7葉（同差-0.1葉）、葉色は34.0（同差-0.2）。（柏崎農業普及指導センター 6月9日付）</p> <p>（上 越）6月9日現在、コシヒカリの生育は、前年並みに早く進んでいる。葉数は多く、過剰生育に注意が必要。草丈はやや長く（指標値107%）、葉数は多く（同差+1.0葉）、葉色は濃い（同差+2.5）。こいしぶきもコシヒカリ同様に葉数が多く、過剰生育に注意が必要。（上越農業普及指導センター 6月9日付）</p> <p>（佐 渡）6月9日現在のコシヒカリの生育は、草丈、葉数は年並、葉色は指標値よりやや少めている。草丈は30cm（指標値100%）、葉数は255本/m²（同比113%）、葉数は6.6葉（同差-0.6葉）、葉色は36.1（同差-1.0）</p> <p>（佐渡農業普及指導センター 6月9日付）</p> <p>（魚 沼）田植え後の好天により、葉数は順調に増えており、生育が早まっている。</p> <p>（JA北魚沼・魚沼農業普及指導センター 6月1日付）</p> <p>（生育）</p>	<p>・6月の病害虫の発生量は、葉いもちは年並、ニカメイチュウ第1世代は年並～やや少なく、ツマグロヨコバイは年並～やや多く、イネドロオイムシは年並～やや少なく、イネミズゾウムシは年並の予報（新潟県病害虫防除所 5月31日公表）</p>
富山	<p>・生育観測データ（6月7日現在）</p> <p>（てんかた）年並に比べて、葉齢が進んでおり、草丈は長く、葉数は多くなっている。</p> <p>（コシヒカリ）年並に比べて、葉齢がやや進んでおり、草丈は長く、葉数はかなり多くなっている。</p> <p>（てんかたも）年並に比べて、葉齢がかなり進んでおり、草丈はやや長く、葉数はかなり多くなっている。</p> <p>（富山県農業技術課 広域普及指導センター 6月7日付）</p> <p>（生育）</p> <p>（直轄情報 6月8日現在）</p> <p>・渚水士中直轄栽培（カルバー）の生育は、年並に比べて、草丈はやや長く、葉数はかなり多く、葉色はかなり進んでいる。</p> <p>・渚水表面直轄栽培（株）の生育は、草丈、葉数は近年より、葉数は近年に比べてかなり多くなっている。</p> <p>（富山県農業技術課 広域普及指導センター 6月8日付）</p>	<p>・6月の葉いもちは年並、紋枯病は多いと予報。斑点米カメムシ類の発生量は、アカヒゲホソドリカスミカメはやや多く、アカスジカスミカメは多く、トゲシラホソカメムシは年並の予報</p> <p>ニカメイガの発生量は年並、イネミズゾウムシはやや多く、イネドロオイムシは少なく、ツマグロヨコバイは年並の予報（富山県農林水産総合技術センター 6月1日公表）</p>
石川	<p>・6月9日現在、葉数は、コシヒカリが加賀地域で年比96～118%（平均108%）、能登地域で年比106～164%（平均116%）と、加賀地域では年並。能登地域では年並に比べやや多くなっている。ゆめみづほは、加賀地域で年並、能登地域では年並に比べ多くなっている（100%、能登43%）</p> <p>前調査（5月28日）からの分けつは急激に増加しており、コシヒカリの生育観測田では、中干し開始葉数（14～16本/株）を上回っているほ場が63%（生育観測田24か所のうち15か所）となっており、特に加賀地域が目立っている。また、ゆめみづほにおいても同様の中干し開始葉数（16～18本/株）を上回っているほ場が90%（生育観測田15か所のうち12か所）に達している</p> <p>葉数は、コシヒカリが加賀地域で0.5葉（+0.6～+0.7）、能登地域で0.5葉（+0.3～+1.2）、ゆめみづほが加賀地域で+0.3葉（0～+0.8）、能登地域は+0.5葉（+0.3～+1.1）となっており、葉齢間からみた生育の進捗は、コシヒカリで年並に比べて1日程度早く、前年並となっており、ゆめみづほでは近年に比べて2日程度早く、前年並となっている。</p> <p>草丈は、コシヒカリが年比98～109%（平均106%）と年並に比べやや長く、ゆめみづほは近年比101～116%（平均107%）とやや長い。葉色（葉色指数）の発現は、コシヒカリが4.5（年比99%）と年並、ゆめみづほで4.8（近年比100%）と近年並となっている。</p> <p>（石川県農林水産部農林総合研究センター 6月9日調査）</p> <p>（生育）</p>	<p>・5月下旬～6月中旬の斑点米カメムシ類の種数における発生はやや多と予想。今後急激な増加も考えられることから、生息場所となる農道、畦畔、休耕田及び遊休地等の雑草の除去を徹底するよう指導。葉いもちの発生量は年並、イネドロオイムシの発生量はやや少の予報（石川県農林総合技術センター 5月26日公表）</p>
福井	<p>・6月8日現在、コシヒカリでは結穂、直穂ともに草丈が年並よりやや長く、葉数は年並を上まわっている。ハナエチンでは草丈がやや長く、葉数は年並より少ない。</p> <p>（水田農業レールアップ委員会技術普及部 6月9日付）</p> <p>（生育）</p>	<p>・6月のいもち病、紋枯病の発生量は年並より多く、ニカメイガ、イネミズゾウムシ、イネゾウムシ、イネドロオイムシ、イネヒメハモグリバエの発生量は年並より少ないとの予報（福井県農業試験場 5月30日公表）</p>
長野	<p>・5月31日現在、移植後は高温に経過したことから、活着は良好で初期生育は順調に進んでいる。草丈は、「コシヒカリ」が年並よりやや長く、「秋の穂」が年並よりやや短かった。葉数は、両品種ともに年並よりかなり多かった（年並の約1.5倍）。葉数は、両品種ともに年並より0.7葉多かった。</p> <p>・4月下旬～5月上旬移植のみずがみは、すでに目標葉数（60株/16本/株、70株/14本/株）に達しているほ場が多い。</p> <p>・5月中旬移植のみずがみは、分けつ盛期となっている。</p> <p>（滋賀県農業技術振興センター 6月3日付）</p> <p>（生育）</p>	<p>・葉いもち、ニカメイガ（第一世代）、イネドロオイムシの発生量は年並、コバネイナゴの発生量はやや少ないと予報（滋賀県病害虫防除所 6月7日公表）</p> <p>・6月の葉いもち、ニカメイガ第1世代、イネドロオイムシ、イネミズゾウムシの発生量は年並の予報（滋賀県病害虫防除所 5月24日公表）</p>
兵庫	<p>・5月26日現在、県北は本田での生育は順調、県南は苗の生育は順調。</p> <p>（兵庫県農政環境部 5月30日付）</p> <p>（生育）</p>	<p>・6月の葉いもちの発生量は年並、ヒメトビウンカ、セジロウカ、トビイロウンカの発生量はやや多いとの予報（兵庫県病害虫防除所 6月2日公表）</p> <p>・西播磨地域では、イネ結実枯病が多発傾向。（兵庫県農政環境部 5月30日付）</p>
岡山	<p>・6月の葉いもちの発生量は年並、ヒメトビウンカ、ツマグロヨコバイの発生量は少、ニカメイガの発生量は年並の予報（岡山県 6月1日公表）</p> <p>（生育）</p>	<p>・6月の葉いもちの発生量は年並、ヒメトビウンカ、ツマグロヨコバイの発生量は少、ニカメイガの発生量は年並の予報（岡山県 6月1日公表）</p>

	生育状況等	周を及び周辺事情に対する自治体等公表資料等（抜粋）
広島		
山口	<p>・5月上中旬の移植では、茎数は昨年とほぼ同様の状況。5月下旬以降終分の活着は良好。移植後の高温、根腐みでの葉の黄化などが一部みられる。移植して灌水が続いているところは、徒長気味の生育になっている。 <u>（JA長門大津、長門農林事務所農業部 6月11日付）</u></p>	<p>・6月の結葉枯病の発生量は平年並の予報 （山口県病害虫防除所 6月1日公表）</p>
愛媛	<p>・普通期水稲の平坦地における移植適期は、にこまるが6月中旬、ヒノヒカリが6月中下旬。 （愛媛県農林水産研究所 5月31日付）</p>	<p>・6月のいもち病（葉いもち）の発生量は平年並～やや多く、ツマグロヨコバイ、ヒメトビウナカ、セジロウナカ、トビイロウナカの発生量は平年並と予報 （愛媛県病害虫防除所 5月30日公表）</p>
高知	<p>・早期水稲（5月25日現在） 4月5日植えの「南国そだち」は、平年より草丈が長く、茎数はやや多め、葉齢でみた生育進度は早く、幼穂形成期は5月24日で、平年より5日早くなっている。 4月5日植え「コシヒカリ」は、平年より草丈は長く、茎数が多く、生育進度はやや早くなっている。 4月14日植え「コシヒカリ」は、平年より草丈はやや長く、茎数がやや多め、生育進度は平年並み。 （高知県農業技術センター 6月1日付）</p>	<p>・6月のいもち病の発生量は平年並、ツマグロヨコバイの発生量は県中央部で多く、県東、県中西部、県西部では平年並、セジロウナカ、ヒメトビウナカの発生量は平年並と予報 （高知県病害虫防除所 6月3日公表）</p>
福岡	<p>・早期水稲（夢つくし、コシヒカリ） 田植え時期は平年並みで、5月15日には終了している。田植え後の高温より初期生育は順調。 ・普通期水稲（夢つくし、元気つくし、ヒノヒカリ） 苗の生育は順調。高温対策のため田植えは「夢つくし」が6月上中旬、「元気つくし」は6月中下旬、「ヒノヒカリ」が6月下旬を中心に行われる見込み。 （福岡県農林業総合試験場 平成28年5月16日専技情報より抜粋）</p>	<p>・イネ結葉枯ウイルス保毒虫亜種の保毒虫率は、平均1.1%で、年々低下傾向にある。 <u>（福岡県病害虫防除所 6月1日）</u></p>
熊本		<p>・6月の早期・早植水稲のいもち病（葉いもち）の発生量は平年並の予報 （熊本県病害虫防除所 5月31日公表）</p>
宮崎	<p>・早期米生育状況 分けつ前期を迎えており、平年より1日早い進捗。草丈はやや高く、茎数は平年並みで、やや徒長気味ではあるが、概ね順調に生育している。 <u>（JA宮崎経済連ホームページ「平成28年産早期米生育情報」6月7日付）</u></p> <p>・早期水稲 5月1日現在の生育ステージ （県全体） 分けつ前期～分けつ期を迎えており、平年よりやや早い進捗。草丈は平年より高く、茎数は平年並み、葉齢は平年より早く進んでいる。気温が高く日照時間が短くなっているところでは、草丈が高くなっているが、生育は概ね順調。 （中部地区） 分けつ前期で、平年より1日早い進捗。草丈は平年より高く、茎数は平年並み、葉齢は平年よりやや早く進んでいる。生育は概ね順調。 （南部珂地区） 分けつ前期で、平年より3日程早い進捗。気温が高く日照時間が長くなっていることから、草丈が高くなっている。葉齢等の進捗も少なく、生育は概ね順調。 （児湯地区） 分けつ前期で、平年並みの進捗。4月下旬は平年より降水量が多く、日照時間が短くなった。28日以降は晴天が続く。生育スピードが回復しつつあるが、3月中旬に移植した地域では分けつ数が少なく、草丈は高くなっている。 （東臼杵南部地区） 分けつ前期で、平年より1～2日程早い進捗。日照時間は平年に比べて少ないものの、平均気温は平年に比べて高く、分けつも段階で生育は良好。降水量は平年より多く推移している。 <u>（JA宮崎経済連ホームページ「宮崎県産早期米産地情報」6月7日付）</u></p>	<p>・6月の早期水稲の葉いもちの発生量は平年並の予報。 （宮崎県病害虫防除・肥料検査センター 5月30日公表）</p>
鹿児島		<p>・6月1～3日の調査結果では、早期水稲の斑点米カメムシ類の発生量がやや多いとの予報（鹿児島県病害虫防除所6月6日）</p> <p>・6月の早期水稲のいもち病、紋枯病の発生量は平年並の予報 （鹿児島県病害虫防除所 5月30日公表）</p>

注1：地方自治体及び出先機関並びにJA等がホームページで公表している資料を米穀機構情報部で取り纏め。
注2：生産数量目標、収穫量、作況については、農林水産省の公表資料から抜粋。

道府県	備考 気象関連公表資料（気象台等公表資料の抜粋）	参考 生産数量目標				収穫量（主食用） 27年度	作況指数 27年度
		平成28年度	前年度との比較	増減率	自主的取組参考値（深緑）		
		千	千	%	千		
全 国	<ul style="list-style-type: none"> 6月11日～7月10日の1か月間は、北日本日本海側では、気温はほぼ平年並み、降水量は平年並み、日照時間は平年並みが多い見込み。北日本太平洋側と東日本では、気温は平年並み、降水量はほぼ平年並み、日照時間はほぼ平年並みの見込み。 西日本日本海側では、平均気温は高く、降水量は平年並み、日照時間はほぼ平年並みの見込み。 西日本太平洋側では、平均気温は高く、降水量は多く、日照時間は平年並み少ない見込み。 （気象庁 6月9日発表） 2014年春に発生したエルニーニョ現象は、2016年春に終息したとみられる。今後、夏の間にはラニーニャ現象が発生し、秋にかけて続く可能性が高い。インド洋熱帯域の海面水温は基準値より高い値が続いており、今後秋にかけて次第に基準値に近づくと予測される。 （気象庁 地球環境・海洋部 6月10日発表） （6～8月の3か月間の見直し） 6月は、北日本と東日本日本海側では、期間の後半は平年と同様に曇りや雨の日が多い見込み。東日本太平洋側、西日本と沖縄・奄美では、平年と同様に曇りや雨の日が多い見込み。気温は、北・東・西日本で平年並みまたは高く、降水量は、西日本太平洋側で平年並みが多い見込み。 7月は、北・東日本では、平年に比べ曇りや雨の日が多い見込み。西日本では、期間の前半は平年と同様に曇りや雨の日が多く、期間の後半は平年と同様に晴れの日が多い見込み。沖縄・奄美では、平年と同様に晴れの日が多い見込み。気温は、北・東・西日本でほぼ平年並みで、沖縄・奄美では高い見込み。降水量は、北・東・西日本で平年並みが多い見込み。 8月は、北日本では、気温はほぼ平年並み、東・西日本と沖縄・奄美では、平年と同様に晴れの日が多い見込み。気温は、東日本で平年並みが高く、西日本と沖縄・奄美で高い見込み。降水量は、北日本で平年並みが多い見込み。 （気象庁 5月25日発表） 	7,430,000	▲ 80,000	▲ 1.1	7,350,000	7,442,000	104
北 海 道	<ul style="list-style-type: none"> 北海道地方の6月11日～7月10日の1か月間は、日本海側と太平洋側の気温は平年並み高い見込みだが、オホーツク海側の気温はほぼ平年並みの見込み。日本海側の日照時間は平年並みが多い見込み。降水量はほぼ平年並み。 （札幌管区気象台 6月9日発表） 	541,500	▲ 5,830	▲ 1.1	535,669	559,600	104
青 森	<ul style="list-style-type: none"> 東北地方の6月11日～7月10日の1か月間は、気温は平年並み高く、降水量と日照時間はほぼ平年並みの見込み。 （仙台管区気象台 6月9日発表） 	239,877	▲ 2,583	▲ 1.1	237,294	229,800	105
岩 手	同上（仙台管区気象台 6月9日発表）	268,321	▲ 2,889	▲ 1.1	265,432	269,400	105
宮 城	同上（仙台管区気象台 6月9日発表）	344,906	▲ 3,714	▲ 1.1	341,193	348,400	103
秋 田	同上（仙台管区気象台 6月9日発表）	413,092	▲ 4,448	▲ 1.1	408,644	419,400	103
山 形	同上（仙台管区気象台 6月9日発表）	340,830	▲ 3,670	▲ 1.1	337,160	354,300	103
福 島	同上（仙台管区気象台 6月9日発表）	335,933	▲ 3,617	▲ 1.1	332,316	342,600	101
茨 城	<ul style="list-style-type: none"> 関東甲信地方の6月11日～7月10日の1か月間は、期間のはじめは、少雨の状態が続く見込み。向こう1か月の気温は平年並み高く、降水量と日照時間はほぼ平年並みの見込み。 （気象庁 6月9日発表） 関東甲信地方では、5月上旬から、高気圧に覆われて晴れる日が多く、降水量の少ない状態が続いている。5月1日から6月2日までの各地の降水量は、平年の50パーセント未満と平年を大きく下回っているところがある。今後2週間程度も、まとまった雨の降る可能性は小さく、雨の少ない状態が続く見込み。 （気象庁 6月3日発表） 	333,776	▲ 3,594	▲ 1.1	330,182	345,400	96
栃 木	同上（気象庁 6月9日発表）	295,508	▲ 3,182	▲ 1.1	292,326	287,300	98
埼 玉	同上（気象庁 6月9日発表）	149,659	▲ 1,611	▲ 1.1	148,047	152,200	97
千 葉	同上（気象庁 6月9日発表）	243,864	▲ 2,626	▲ 1.1	241,239	297,500	101
新 潟	<ul style="list-style-type: none"> 北陸地方の6月11日～7月10日の1か月間は、気温は高く、降水量と日照時間はほぼ平年並みの見込み。 （新潟地方気象台 6月9日発表） 	515,737	▲ 5,553	▲ 1.1	510,184	539,600	97
富 山	同上（新潟地方気象台 6月9日発表）	183,672	▲ 1,978	▲ 1.1	181,695	191,200	103
石 川	同上（新潟地方気象台 6月9日発表）	122,313	▲ 1,317	▲ 1.1	120,996	123,200	101
福 井	同上（新潟地方気象台 6月9日発表）	124,124	▲ 1,336	▲ 1.1	122,787	123,800	99
長 野	<ul style="list-style-type: none"> 関東甲信地方の6月11日～7月10日の1か月間は、期間のはじめは、少雨の状態が続く見込み。向こう1か月の気温は平年並み高く、降水量と日照時間はほぼ平年並みの見込み。 （気象庁 6月9日発表） 関東甲信地方では、5月上旬から、高気圧に覆われて晴れる日が多く、降水量の少ない状態が続いている。5月1日から6月2日までの各地の降水量は、平年の50パーセント未満と平年を大きく下回っているところがある。今後2週間程度も、まとまった雨の降る可能性は小さく、雨の少ない状態が続く見込み。 （気象庁 6月3日発表） 	191,933	▲ 2,067	▲ 1.1	189,867	194,500	97

気象関連公表資料（気象台等公表資料の抜粋）		t	t	%	t	t	t
滋賀	・近畿地方の6月11日～7月10日の1か月間は、気温は高く、降水量は平年並か多く、日照時間はほぼ平年並の見込み。 （大阪管区気象台 6月9日発表）	158,741	▲ 1,709	▲ 1.1	157,032	158,500	100
兵庫	同上（大阪管区気象台 6月9日発表）	178,518	▲ 1,922	▲ 1.1	176,596	178,900	99
岡山	・中国地方の6月11日～7月10日の1か月間は、1週目の気温は高く、2週目は平年並か高く、向こう1か月を平均した気温も高い見込み。降水量は平年並か多く、日照時間はほぼ平年並の見込み。 （広島地方気象台 6月9日発表）	156,861	▲ 1,689	▲ 1.1	155,172	149,500	96
広島	同上（広島地方気象台 6月9日発表）	128,585	▲ 1,385	▲ 1.1	127,201	121,700	96
山口	・九州北部地方（山口県含む）の6月11日～7月10日の1か月間は、期間の前半を中心に向こう1か月の気温は高い見込み。降水量は平年並か多く、日照時間はほぼ平年並の見込み。 （福岡管区気象台 6月9日発表）	107,601	▲ 1,159	▲ 1.1	106,443	100,700	97
愛媛	・四国地方の6月11日～7月10日の1か月間は、気温は平年並か高く、降水量は多く、日照時間は平年並か少ない見込み。 （高松地方気象台 6月9日発表）	73,133	▲ 787	▲ 1.1	72,345	71,200	98
高知	同上（高松地方気象台 6月9日発表）	49,537	▲ 533	▲ 1.1	49,003	52,800	96
福岡	・九州北部地方（山口県含む）の6月11日～7月10日の1か月間は、期間の前半を中心に向こう1か月の気温は高い見込み。降水量は平年並か多く、日照時間はほぼ平年並の見込み。 （福岡管区気象台 6月9日発表）	180,526	▲ 1,944	▲ 1.1	178,582	172,300	95
熊本	同上（福岡管区気象台 6月9日発表）	187,293	▲ 2,017	▲ 1.1	185,277	171,500	97
宮崎	・九州南部地方の6月11日～7月10日の1か月間は、気温は平年並か高く、降水量は多く、降水量は平年並か少ない見込み。 （鹿児島地方気象台 6月9日発表）	92,603	▲ 997	▲ 1.1	91,606	74,700	93
鹿児島	同上（鹿児島地方気象台 6月9日発表）	109,887	▲ 1,183	▲ 1.1	108,704	95,700	95

参考資料:

平成28年産米の都道府県別の生産数量目標について(農林水産省)
平成27年産水陸稲の収穫量(農林水産省)
平成28年度病害虫発生予報第2号(農林水産省)

農作物の生育状況 6月1日現在(北海道 6月7日)、農作物生育状況 6月1日現在(北海道空知総合振興局 6月7日)、
農作物の生育状況 6月1日現在(北海道石狩振興局 6月7日)、農作物の生育状況 6月1日現在(北海道後志総合振興局 6月7日)、
農作物の生育状況 6月1日現在(北海道胆振総合振興局 6月7日)、農作物の生育状況 6月1日現在(北海道日高振興局 6月7日)、
農作物の生育状況 6月1日現在(北海道渡島総合振興局 6月7日)、農作物の生育状況 6月1日現在(北海道檜山振興局 6月7日)、
農作物の生育状況 6月1日現在(北海道上川総合振興局 6月7日)、農作物生育状況調査の概要 6月1日現在(北海道留萌振興局 6月7日)
農作物の生育と農作業の進捗状況 6月1日現在(北海道オホーツク総合振興局 6月7日)、
病害虫発生予察情報第3号6月予報(北海道病害虫防除所 5月30日)、
H28水稲作況(6月10日現在)(青森県産業技術センター農林総合研究所 6月10日)、6月5日現在田植え進捗状況(青森県 6月7日)、
平成28年度病害虫発生予報第3号(6月予報)(青森県病害虫防除所 5月31日)、
平成28年度水稲生育定期調査結果№1(6月6日現在)(岩手県農業研究センター 6月8日)、平成28年度農作物病害虫防除連報№6水稲編-2(岩手県病害虫防除所 6月13日)、
農作物技術情報第3号水稲(岩手県 5月26日)、平成28年度病害虫発生予察情報発生予報第3号(岩手県病害虫防除所 6月1日)、
平成28年度水稲の生育状況について(6月10日現在)(宮城県農林水産部 6月13日)、平成28年度発生予察情報発生予報第4号-水稲-(宮城県病害虫防除所 6月7日)、
平成28年度稲作情報第2号(宮城県亶理農業改良普及センター 6月13日9)、
平成28年度大崎稲作情報第2-2号(宮城県大崎農業改良普及センター 6月13日)、平成28年産山南稲作情報(第2号)(宮城県大河原農業改良普及センター 6月9日)、
稲作情報Vol.2(本吉農業改良普及センター 6月10日)、栗原の稲作通信平成28年第2号(宮城県栗原農業改良普及センター 6月14日)、
登米地域の稲作通信第3号(宮城県登米農業改良普及センター 6月10日付)、平成28年産美里地区の稲作情報第1号(宮城県美里農業改良普及センター 6月3日)、
生育状況の情報(秋田県ホームページ「こまちチャネル」http://www.e-komachi.jp/ 6月13日)、
平成28年度農作物病害虫発生予察情報発生予報第2号(6月予報)(秋田県病害虫防除所 5月27日)、
米づくり技術情報No.3(オールやまがた米づくり日本一運動本部 県産米ブランド推進課 6月10日)、
酒田・飽海日本一米づくり情報第5報(酒田農業技術普及課 6月14日)、酒田飽海つや姫情報第3号(酒田農業技術普及課 6月1日)、
つや姫通信第1号(村山総合支庁農業技術普及課 6月13日)、おいしい米づくり情報(村山総合支庁農業技術普及課 6月13日)、
稲作だより第3号(村山総合支庁産業経済部北村山農業技術普及課 5月26日)、稲作だより第6号本田初期編(最上総合支庁農業技術普及課 6月15日)、
つや姫だより第3号(庄内総合支庁農業技術普及課 6月10日)、おきたま米づくり情報No.4(置賜総合支庁産業経済部農業技術普及課 6月7日)、
おいしい米づくり情報第4号(村山総合支庁農業技術普及課 5月11日)、稲作だより第3号(村山総合支庁西村山農業技術普及課 5月10日)、
おきたま米づくり情報No.3(置賜総合支庁産業経済部農業技術普及課 5月6日)、つや姫だより第1号(最上総合支庁農業技術普及課 4月22日)、
平成28年度農作物有害動物発生予察情報発生予報第3号(6月)(山形県病害虫防除所 6月1日)、
主要な農作物の生育情報平成28年度第2号(福島県農林水産部 5月12日)、平成28年度病害虫発生予察情報発生予報第2号(5月)(福島県病害虫防除所 5月27日)、
農研連報(水稲の生育状況)(6月10日現在、水戸市)(茨城県農業総合センター 6月13日)、(6月6日現在、龍ヶ崎市)(茨城県農業総合センター 6月14日)、
病害虫発生予察注意報第1号(茨城県病害虫防除所 6月9日)、
病害虫発生予報5月号(茨城県病害虫防除所 4月28日)、平成28年度病害虫発生予報第2号(栃木県農業環境指導センター 5月20日)、
平成28年度病害虫発生予察注意報第1号・植物防疫ニュース(連報No.3)(栃木県農業環境指導センター 6月1日)、
平成28年度水稲生育診断予測事業連報No.2(栃木県農政部 6月10日)、
植物防疫ニュース(連報No.2)(栃木県農業環境指導センター 5月27日)、平成28年度病害虫発生予報第2号(栃木県農業環境指導センター 5月20日)、
平成28年度水稲の生育概況vol.1(埼玉県農業技術研究センター 6月8日)、
平成28年度病害虫発生予報第2号(6月予報)(埼玉県病害虫防除所 5月27日)、水稲の生育状況と当面の対策第2報(千葉県農林水産部 6月3日)、
平成28年度病害虫発生情報第1号(千葉県農林総合研究センター 6月9日)、平成28年度病害虫発生予報第3号(千葉県病害虫防除所 6月9日)、
水稲の生育状況と今後の管理対策(第1号)(新潟県農林水産部 5月31日)、
岩船米生育連報(6月9日現在)(村上農業普及指導センター)、
新発田地域水稲生育連報No.2(新発田農業普及指導センター 6月9日)、新潟稲作連報No.2(新潟農業普及指導センター 6月9日)、
水稲生育連報No.2(新潟農業普及指導センター 6月9日)、水稲生育連報(巻農業普及指導センター 6月9日)、
FAX稲作連報No.6(三条農業普及指導センター 6月9日)、水稲生育連報(長岡農業普及指導センター 6月9日)、
稲作管理情報2(柏崎農業普及指導センター 6月9日)、平成28年上越地域米水稲生育連報(6月9日)(上越農業普及指導センター 6月9日)、
平成28年度稲作生育連報No2(佐渡農業普及指導センター 6月9日)、
稲作情報(JA北魚沼・魚沼農業普及指導センター 6月1日付)、
平成28年度新潟県病害虫発生予察情報・予報第3号(6月の発生予想)(新潟県病害虫防除所 5月31日)、
TACS情報第2号(富山県農業技術課 広域普及指導センター 6月7日)、
直播情報(第2号)(富山県農業技術課 広域普及指導センター 6月8日)、病害虫発生予報第3号(富山県農林水産総合技術センター 6月1日)、
平成28年度水稲の生育状況と今後の対策(水稲生育診断技術確立調査-2号)(石川県農林総合研究センター 5月27日)、
病害虫発生予報第2号(石川県農林総合研究センター 5月26日)、
稲作情報No.6(福井県 水田農業レベルアップ委員会技術普及部会 6月9日)、平成28年農作物病害虫発生予察予報第4号(福井県農業試験場 5月30日)、
稲作フアンポイントアドバイス(No1)(JA長門大津、長門農林事務所農業部 6月11日)、
病害虫発生予報第2号(長野県病害虫防除所 5月16日)、平成28年病害虫発生予報第3号(滋賀県病害虫防除所 5月24日)、
平成28年度水稲生育診断情報No.1(滋賀県農業技術振興センター 6月3日)、
平成28年度兵庫県農業気象技術情報第2号(6月情報)について(兵庫県農政環境部 5月30日)、平成28年度病害虫発生予察予報第2号(兵庫県病害虫防除所 6月2日)、
平成28年度病害虫発生予報第3号(岡山県病害虫防除所 6月1日)、農作物病害虫発生予報6月(山口県病害虫防除所 6月1日)、
気象情報に基づく技術対策・作物(愛媛県農林水産研究所 5月31日)、病害虫発生予報(6月)(愛媛県病害虫防除所 5月30日)、
水稲の生育概況(平成28年度)、平成28年度における早期水稲の生育状況(5月25日時点)(高知県農業技術センター 6月1日)、
平成28年度病害虫発生予察予報第3号(6月)(高知県病害虫防除所 6月3日)、
平成28年度病害虫発生予察連報第1号について(福岡県病害虫防除所 6月1日)、
福岡県の主な農作物の生産状況(福岡県農林業総合試験場 4月15日)、平成28年度病害虫発生予報第3号(6月予報)(熊本県病害虫防除所 5月3日)、
平成28年産宮崎産早期米産地情報(平成28年5月1日現在)・平成28年産早期米生育状況(宮崎経済連ホームページhttp://www.miyazaki-cha.jp/kome/index.html 6月7日)、
平成28年度病害虫発生予報第2号(宮崎県病害虫防除所・肥料検査センター 5月30日)、平成28年度病害虫発生予報3号(鹿児島県病害虫防除所 5月30日)、
平成28年度技術情報第7号(鹿児島県病害虫防除所 6月6日)

北海道地方向こう1か月の天候の見通し(札幌管区气象台)、東北地方向こう1か月の天候の見通し(仙台管区气象台)、関東甲信地方向こう1か月の天候の見通し(気象庁)、
北陸地方向こう1か月の天候の見通し(新潟地方气象台)、近畿地方向こう1か月の天候の見通し(大阪管区气象台)、中国地方向こう1か月の天候の見通し(広島地方气象台)、
四国地方向こう1か月の天候の見通し(高松地方气象台)、九州北部地方向こう1か月の天候の見通し(福岡管区气象台)、九州南部・奄美地方向こう1か月の天候の見通し(鹿児島地方気
象庁)ニョ監視連報(No. 285)(気象庁地球環境・海洋部 6月10日)